

● 広報

おくび



2004

4

NO.594



シリーズ

1

と き
輝きの瞬間

待ちわびて、春

春のにおいを土から感じながら、ハウスでのウルの収穫作業に出会いました。温度管理など細心の注意を払いながら厳しい冬を乗り越え、ようやく迎えた、喜びの瞬間。

増岡の飯澤嘉子さんのハウスには、ひと足早い小国の春が広がっていました。

みんなの 広場

3/13~14

またぎと一緒
に
森のハイキング



第九回雪の学校（斎藤重美校長）が、三月十三日と十四日の二日間にわたり、白い森交流センターりふれ周辺を会場に開催されました。

当日は、五味沢地区のマタギの人たちの案内による朝日山ろくの散策や斜面滑り、かまくら体験、小正月の恒例行事であるサイズ焼きなどが行われました。埼玉県や茨城県などから参加された約四十人のかたがたは、ひと足早い小国の早春を満喫しました。



2/28

ほっぺが落ちそう！
白い森の幸に舌鼓



小玉川小中学校で三月十三日、ガムランの交流会が行われました。これは、十月に行われた国民文化祭での共演をきっかけに「音工場HANEDA」（東京都）のメンバー十一人が、卒業生の門出を祝おうと自費で駆けつけ、実現しました。

交流会では、ハネダのメンバーと全校児童生徒によるガムランの合奏のほか、民族舞踊も披露されました。卒業生にとって、思い出深いプレゼントとなりました。

3/13

ガムランの演奏は
友情の証



おぐに冬まつりが、二月二十八日、総合センターグラウンド特設会場で行われました。今年初めての試みとして、

「おぐに鍋まつり」も同時に開催。町内から十一団体が参加し、山菜や熊肉、イワナなどを使った鍋が出店されました。当日は、約六百五十人の町民が参加し、来場者による投票の結果、山菜をメインにした納豆汁「とろろり山の幸（小国掘れ話ん和ん探検隊）」が初代チャンピオンに輝きました。

ーこの人に聞くー



泡の湯温泉三好荘 3代目
舟山 隆さん

地域の魅力を多くの人に 伝えていきたい

今月は、泡の湯温泉三好荘3代目、舟山隆さん（小玉川）にお話を聞きました。

「高校を卒業後、山形市内の料亭で日本料理の修業を6年間積み、昨年の春に帰郷しました。今では、調理のほか、旅館業務の全般を家族と協力して行っています。

2月に行われたおぐに鍋まつりでは、「小国掘れ話ん和ん探検隊」の一員として「とろ〜り山の幸鍋」を出品し、優勝することができました。今は、仲間と一緒に取り組む楽しさを感じています。また、先月には友人と協力して念願のホームページ(www.awanoyu.com)を開設しました。日本に6つしかない炭酸泉のある宿の魅力や小玉川地区の情報を写真と共に紹介しています。

今年は、狩猟の免許を取り、マタギとして地域の伝統文化を受け継いでいきたいと考えています。今後も、地域の魅力を多くの方に感じてもらえるよう、さまざまなことに挑戦していきたいです」。

3/14

地域あげて、 冬の日を満喫



足中雪祭りが、三月十四日、玉川小学校足中分校で開催されました。足中若衆会（佐藤和美会長）が企画し、今年で十六回目を迎えます。

グラウンドでは、分校の生徒や足中地区の四季を織り込んだ雪上カルタ取りやかかしリレー、足中ウルトラクイズなどのレクレーションを行ったり、餅つき大会や分校児童の発表、地区のかたがたの歌や踊りが披露され、楽しい冬の日を満喫しました。

3/13

子どもの話に よく耳を傾けて・・・



小国小こことばの教室親の会（佐藤孝志会長）の講演会が、三月十三日、おぐに開発総合センターで行われました。講師に宮城教育大学の長谷川茂教授を迎え、「言語臨床という仕事」三十年を振り返る」

と題した講演が行われました。講演の中で長谷川教授は「子どもの話によく耳を傾け、地域全体で子どもを育んでいく」と置賜各地から参加された約四十名の聴衆に訴えかけました。

平成16年度のまちづくりと 予算のあらまし

平成十六年度の町予算が、三月定例議会で決まりました。今年には「新町小国町」が誕生して五十年目を迎えます。持続可能な社会をめざし、協働と協創のまちづくりを進めていくため、総額百八億九千万円の予算を編成しました。そこで今月は、新年度の施政方針のあらましについてお知らせいたします。

予算の内訳

一般会計	59億5,800万円
特別会計	32億4,686万円
企業会計	16億9,083万6千円
計	108億9,569万6千円

平成十六年度施政方針

古来小国郷と呼ばれていた五十九か村は、地形的にも行政的にも一つのまとまりある地域でありました。

明治二十二年、市町村制に基づき小国郷は旧小国町、南小国村、北小国村、津川村の四つにくぐられ、小国郷の振興を図ってきました。

昭和二十九年三月には、昭和の大合併により、旧小国町、南小国村、北小国村が山形県第一号として町村合併をし、「新町」が誕生いたしました。

今年には、「新町小国町」になってから、五十年目の節目を迎えます。

五十年という節目を迎えたいま、私は、先人先達のこうした努力に深く敬意を表するとともに、活力ある美しいふるさと「おぐに」を、次の時代に引き継いでいくことが私の使命であると決意を新たにし、その実現に全力を傾注してまいります。

地域社会を

取り巻く諸情勢

いま、国では、競争の原理と自助努力の原則という視点に

立って、民間の活力と地方の自主自立を促進し、地域再生を総合的、戦略的に推進することとしております。

「地方にできることは地方に」という考え方のもと、「三位一体の改革」が進められており、本年度には、一兆円規模の国庫補助金の廃止、縮減とともに、地方交付税が一兆二千億円減額された一方、税源移譲の措置として所得譲与税が創設され、四千二百億円が地方に移譲されることとなりました。

国は、平成十六年度予算編成にあたり、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2003」を示し、「改革断行予算」という基本路線に基づき、歳出全体の徹底的な見直しを行い、実質的には前年度の水準以下に抑制いたしました。

行財政運営の基本姿勢

私は、こうした国、県の動向を踏まえ、本年度も「行財政改革緊急実施期間」とし、予算の持続性を確保しながら歳入確保に一層努め、歳出全般にわたる徹底した見直しを行い、少子高齢対策や景気・雇用対策などの、当面する重要課題に重点的に取り組むことといたしました。

予算編成の基本的な考え方といたしまして、一つには、地域経済の低迷や人口構造の急激な変化に対応していくため、「公、共、私」の役割を明確にし、それぞれが持つ主体性を最大限に引き出し、多様な分野で「支援から自立へ」の基本姿勢に立つて政策を展開していくことに重点を置きました。

二つには、予算全体について、物価の動向と、行政サービスの簡素化、効率化を織り込み、業務単価の引き下げを図るとともに、事務事業の点検整理及び組織機構の再編を行いながら歳出経費の抑制に努めました。

予算の編成方針

予算の積算にあたりましては、地方財政計画及び小国町行財政改革大綱に基づき、経常経費の抑制に努める一方、雇用・経済対策、教育・福祉の充実、さらに、生活環境の整備といった当面する課題に対して、重点的、効率的に財源の配分を行いました。

このようにして編成いたしました一般会計予算は、対前年度比二・九％減の五十九億五千八百万円、平成三年度以来の六十億円を下回る緊縮型の予算と

なりました。また、一般会計と特別会計及び企業会計を合わせた町予算の総額は百八億九千五百六十九万六千円で、前年度比二・五％の減となりました。

歳入の概要について申し上げます。

町税につきましては、景気が回復傾向にあるものの、個人所得に波及するには時間を要するものと思っておりますが、事業所の新設等による法人町民税及び新築家屋にかかる固定資産税の増収などを見込み、前年度比二・六％増の十億千八百五十万二千円を計上いたしました。

地方譲与税及び地方消費税等については、地方財政計画に基づいて算定した結果、前年度を上回ることになったほか、本年度、新たに公立保育所運営費、介護保険事務費などの国庫補助負担金の廃止に伴う財源移譲として、所得譲与税新設などの制度改正がありましたので、これらを計上いたしました。

地方交付税については、経常経費及び投資的経費で大幅な縮減が行われたため、前年度に比べ八・七％減の二十六億千五百万円となりました。また、普通

交付税を地方債に振り替えて措置する臨時財政対策債については、地方財政計画で前年度比二八・六％という大幅な縮減があり、地方交付税と合わせた合計額では三億八千三十万円の減となりました。

次に歳出の概要について申し上げます。

義務的経費のうち、人件費については、町長、助役、収入役、教育長の給料月額を、これまでと同様に減額することとしたほか、一般職における管理職手当の削減継続や五十五歳昇給停止の実施などにより、前年度比二・七％の減となりました。

扶助費については、障害者支援費の増加及び保育所入所児童の低年齢化などにより、七％増加しました。公債費は、本年度、償還のピークを迎えることから、十三億七千一百七十七円となりました。

投資的経費については、単独事業の計画的な実施などにより、前年度に比べ四千八百三十三万円、五・九％の増となりました。なお、新山村振興等農林漁業特別対策事業及び経営構造対策事業など、前年度からの繰越事業費

一億五千六十四万二千円をあわせた事業費は、八億九千八百三十八万七千円となります。

これら施策事業の財源については、補助制度の活用など、特定財源の確保に努めるとともに、過疎対策事業債等の起債を活用したほか、各種基金を充当し、必要額を確保したところであります。

施策のあらまし

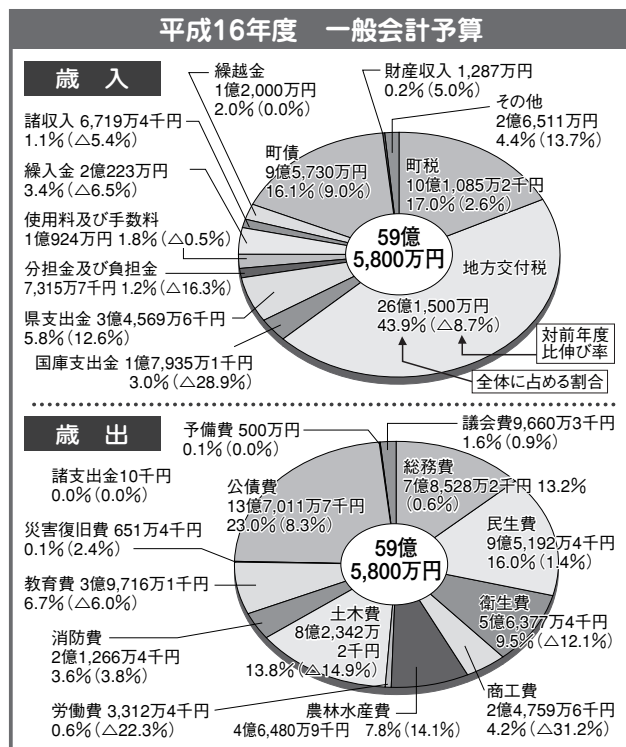
平成十六年度予算の執行にあたっては、引き続き

- 一 少子高齢社会のまちづくり
 - 一 産業経済の活性化機能づくり
 - 一 地域活性化の基盤づくり
 - 一 分権型行政の運営
- の四つの施策を柱に、行財政運営を展開することといたしました。

少子高齢社会の

まちづくり

国では、急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変化に伴い、次世代育成支援対策推進法を施行いたしました。この法律に基づきまして、本年度、「次世代育成支援対策推



進行動計画」を策定し、本町にふさわしい少子対策の在り方を明らかにしてまいりたいと存じます。

特に、急速な少子化の進行に伴い、民間保育所において定員割れが生じていることや、公立保育所運営費の一般財源化など、保育所を取り巻く環境が大きく変化しております。今後、本町における望ましい保育所設置の在り方について検討してまいります。

暮らしにやさしい住まいづくり助成事業につきましては、高齢社会の進展とともに、下水道整備事業や合併処理浄化槽設置事業の実施などあわせて利用するという事業が増加しております。このため、事業効果をより向上させていく視点に立って補助要綱等を見直した上で、継続してまいります。

在宅介護支援センター及び訪問看護ステーションにおきまし

各会計歳入歳出予算額

区 分	H16当初予算額	対前年度比率
一 般 会 計	59億5,800万円	△ 2.9%
特 別 会 計	簡易水道事業会計	2,610万円 36.1%
	国民健康保健事業会計	8 億870万円 8.3%
	部落有財産会計	1 億354万円 3.3%
	老人保健会計	11億3,672万円 △ 3.7%
	公共下水道事業会計	3 億6,955万円 △13.3%
	訪問看護特別会計	5,375万円 △ 2.8%
	介護保険特別会計	7 億4,850万円 △ 0.3%
	計	32億4,686万円 △ 1.0%
企 業 会 計	病院事業会計	11億5,756万円 △ 2.2%
	老人保健施設事業会計	2 億8,651万 6 千円 4.3%
	水道事業会計	1 億4,309万 2 千円 △31.1%
	工業用水道事業会計	1 億366万 8 千円 7.4%
	計	16億9,083万 6 千円 △ 4.0%
合 計	108億9,569万 6 千円	△ 2.5%

国民健康保険制度の普及を目的として、昭和三十一年に設置された保健連絡員につきましては、これまで四十八年間にわたって地道な活動を展開していただき、普及事業とともに町民の健康推進に多大な成果を残していただいたところであり、健康推進に関する町としての取り組み手法等の変遷によりまして、その役割を終えていただく

町民の健康づくりに対する意識の高揚を図っていくため、関係課及び民間企業、自主グループなどとの連携を図りながら、健康まつりを開催することといたしました。また、乳ガン検診の方法が見直されたことなどから、子宮ガン検診及び骨密度検診とあわせたレディース検診事業を実施することとします。

では、利用者が毎年増加する傾向にあることから、サービスの向上を図ってまいります。障害者等の福祉施策といったしましては、国の制度及び障害者福祉計画に基づき、障害者の自立に向けて支援してまいります。

ことが可能となりましたので、本年度廃止することといたしました。長年にわたりまして、多大なご尽力をいただいております。たことに、深く感謝申し上げます。次第であります。



いきいきとした暮らしを実現するため各種施策を展開

町立病院につきましては、医療保険制度の改正や人口減少、さらに交付税措置など、支援措置が縮小されたことなどが総体的に影響し、極めて厳しい経営状況になっております。このため、病院経営を抜本的に見直していくため、町立病院経営懇話会を開催し、意見を賜うとともに、介護老人保健施設との一体性を重視しながら、組織をあげて取り組んでまいります。

なお、介護老人保健施設におきまして、本年度から通所リハビリテーションの定員を二十名から二十五名に増やし、サービスの拡充を図ってまいります。

また、宿泊人間ドッグを継続実施するとともに、国民健康保険人間ドッグ事業を普及推進し

てまいります。

次に、教育の振興につきましては、国の中央教育審議会は、「自己実現を目指す自立した人間の育成」、「『知』の世紀をリードする創造性に富んだ人間の育成」、「日本の伝統、文化を基盤として国際社会を生きる教養ある日本人の育成」などを目標に、社会情勢の変化に柔軟に対応した教育の実践が必要としております。

本町では、こうした教育を取り巻く環境の大きな変革期の中で、平成十三年度から三カ年にわたって小中高一貫教育の研究開発に取り組んできたところであり、少子社会に対応した教育実践の在り方を模索するという点で、高い評価をいただいているところでございます。

このため、まず、小中高一貫教育の取り組みを継続していくため、英語指導助手の招致、英会話の実践を目的とした交流事業を展開していくほか、これらの教育実践の指導を充実していくため、引き続き指導主事を配置してまいります。また、これまでの小中高一貫教育の成果を基に、県立小国高等学校が本町で果たす役割の重要性を踏まえ

た上で、町及び山形県、学識経験者、地域住民など多様な立場の方々に参画いただきながら、「新しい時代にふさわしい教育の在り方」について、研究を深めてまいりたいと考えております。また、子ども達の感性を豊かにしていく演劇教室の開催に對して支援してまいります。

学校施設等の整備につきましては、小国小学校家庭科室に調理台を増設するほか、小国中学校消防施設の改修、叶水中学校体育館及び玉川中学校校舎屋根塗装、白沼中学校プール修繕などを実施してまいります。

生涯学習の推進にあたりましては、生涯学習推進計画に基づき、それぞれの年代に応じた学習講座を開設するとともに、特に少子社会に対応した学習機会の充実と情報提供、さらに、指導者の育成に努めていくため、新子どもセンター事業を引き続き実施してまいります。さらに、山形県教育委員会に対して要望しておりました社会教育主事の派遣が実現する見込みとなりましたので、生涯学習推進の体制強化を図ってまいります。

平成七年の夏、飯豊山麓の天



10年目を迎える白い森国際ワークショップ

狗平特設会場で「小国国際文化フェスティバル」を開催いたしました。以来、小国を舞台に、新たな文化の創造を目指し、日本、ヨーロッパの伝統的な舞台芸術を題材とした国際的なワークショップを継続してまいりました。その十年という節目の年を迎える今年、日本の能とフランスのバレエを題材として、八月下旬から二週間にわたって、白い森国際交流ワークショップ事業が開催されることになりましたのでこれを支援するほか、その期間中に十年間の集大成とも言えるべき「日仏芸術文化交流事業」として、狂言と創作舞踊の公演を行うことにいたしました。開催にあたりましては、町内における芸能・芸術文化団体関係の皆様方をはじめ、多くの

皆様方に理解と参画をいただきながら展開できるよう進めてまいりたいと考えております。

体育振興につきましては、各種スポーツ団体の育成支援とともに、地区対抗行事を開催しながら、町民一人ひとりが生涯スポーツに取り組んでいくことができる環境をさらに整えてまいります。

産業経済の 活性化機能づくり

わが国の経済は、IT（情報技術）関連や自動車製造部門を中心に前向きな動きが現れ始めております。これらの動向が、本町のような地方まで波及するには時間を要するものと推測されますが、その早期実現に大きな期待を寄せているところでございます。

本町における景気・雇用対策といたしましては、まず、本町産業の基幹であります東芝セラミックス株式会社及び日本重化学工業株式会社の持続的な企業活動を維持していくための環境づくり、両社との緊密な連絡体制を構築しながら取り組んでまいります。

また、本町には豊かな森林資源をはじめ、人々が自然とともに生活することによって育まれてきた生活技術や文化など、独特の資源が温存されておりますので、これらを活用した新たな産業を協働の力で創造していくため、担当部署を一元化してまいります。さらに「山菜の学校」や「お歳暮パック」の実施など、住民の主體的な発想と行動により、さまざまな取り組みが行われ各方面から高い評価を得ておりますので、こうした活動が新たな「賑わいの創造」や「産業興し」につながるよう支援してまいります。

雇用相談員を引き続き配置し、雇用支援の安定確保に努めるとともに、労働情勢懇話会の開催や雇用対策本部を継続して設置し、国、県の各種支援策や景気・雇用情勢等について、情報収集と提供に取り組んでまいります。さらに、本年度は、新規に町内企業のガイドブックの作成や事業所説明会の開催を企画し、新規学卒者の就職支援を行ってまいります。

雇用の場の創出と安定確保を図るために創設した町独自の緊急雇用促進助成制度を継続実施

してまいります。また、緊急雇用対策といたしまして、本町の特性である森林資源を保全しながら景観形成を図っていくという視点で、森林環境整備を行うこととし、五名の雇用を確保してまいります。

労働者及び中小企業等への支援策といたしましては、未組織労働者資金保証料補給及び勤労者生活安定資金原資預託、さらに、県信用保証協会保証料補給、町商工業振興資金緊急融資事業、利子補給金等を確保したところでございます。

本町商業は、長引く不況の影響を受け、大変厳しい状況にあります。その活性化策を検討していくため、地域づくりアドバイザー制度を活用することとしました。また、商工会が実施しております地域づくり型ビジネス創造推進事業を、引き続き支援してまいります。

また、小国いきいき街づくり公社が、合併処理浄化槽から下水道への切り替え工事を行うこととしておりますので助成してまいります。

観光振興施策といたしましては、交流施設等の維持及び修繕

を計画的に実施するほか、その管理運営については、おぐに白い森株式会社に委託することとし、所要額を措置したところであります。また、新町誕生五十周年を記念した白い森景観交流事業として、パネルディスプレイや写真コンテストなどを実施することといたしました。さらに、町民の方々が中心となり、積極的に誘致活動に取り組まれてまいりました大相撲「東関部屋」の合宿が、本年八月に実施される運びとなりましたので、これが、町の活性化につながる大きな力となるよう期待しております。

次に、農林業の振興につきましては、本年度から「米政策改革大綱」に基づき、新たな米の需給調整を行っていくこととなりました。その基本といたしましては、これまでの「米の作らない面積の配分から、作る数量への配分」に改められ、農業者及び農業者団体が主役となる仕組みに転換されるものであります。国では、こうした生産量調整方式を確実に推進していくため、新たに水田農業構造改革対策を実施することといたしましたので、本町でもこれに沿った取り組み体制を整えてまいります。

す。なお、国において、本年度から支援を廃止することとした「とも補償制度」につきましては、本町の農業生産の特徴を維持していく上で必要な制度でございますので、町独自の制度として継続していくことといたしました。

また、転作田に山菜の栽培を奨励してきたところでありますが、生産性を向上させていくことをねらいに、県単独事業の「山の恵み交流体験事業」が創設されましたので、あわせてこれを導入してまいります。

さらに、小国町食の文化・産業づくり推進事業に取り組んでおりますが、本年度は「食の文化・産業推進フォーラム」及び「小国特産物販売フェア」等を実施することといたしました。

国土交通省が施工されました玉川砂防林事業によりまして、周辺環境の安全性と景観が飛躍的に向上いたしましたので、新山村振興等農林漁業特別対策事業を活用し、マタギ体験交流施設を建設するほか、横川ダム水源地域の振興をさらに図っていくため、前年度に農林水産省の



4月より新たな米政策がスタート

補助採択を受けた経営構造対策事業で総合交流拠点施設を建設することといたしました。それぞれの施設とも、地元自治組織に管理、運営をお願いしたいと考えております。

本町が先史時代から受け継いできた豊かな森林資源を保全し、国民的要請に応えていくために、森林整備地域活動支援推進事業を活用した森林整備に努めるとともに、林業構造改革事業により、小国町森林組合が取り組みます林業生産用機械整備を支援してまいります。

地域活性化の基盤づくり

地方分権の推進は、国と地方の役割分担の適正化を求めています。

り、国土政策の機軸は「地域の個性ある発展」へと変容しております。

このため私は、本町の自然、歴史、伝統文化、生活技術、産業構造などの特性を生かし、地域活性化の基盤づくりを進めてまいります。

町道の整備につきましては、新規事業といたしまして、若山金目線及び樺沢線の一部拡幅改良を行うこととしたほか、幸町一号線の用地調査、さらに、大宮下林連絡道路について、町道として舗装整備に取り組むことといたしました。また、土尾二渡戸線及び長沢三面線、長者原内川線、小坂町朝篠線の改良事業等を継続実施することとしたほか、小国停車場大日堂線の付帯施設として、駐車場を整備することといたしました。なお、町道横川ダム湖岸線は、前年度繰越事業により、本年秋に完成見込みであります。また、小坂町地内及び兵庫館地内のコミュニティ道路整備に必要な経費を措置いたしました。さらに、道路橋梁をはじめ、排水路や集落内河川等の土木施設の改修等によって、住民生活が大きく向上する箇所については、維持補修事業として迅速性と効率性を確保しながら対応してまいります。

保しながら対応してまいります。

県道五味沢小国線の沖庭橋架

け替え事業につきましては、平成二十年度の完成を目指して段階的に進められており、本年度は用地買収に着手されると伺っております。また、沖庭橋の架け替えに伴いまして、その取り付け道路が舟渡農村公園の一部にかかることから、県の補償を受け町が公園機能を確認するための代替え工事を行うことといたしました。さらに、西踏切の拡幅改良につきましても、JRとの間で基本計画に必要な設計協議が進められているとのことでありますので、早期実現に向けて要望活動を展開してまいります。

新潟県朝日村とを結ぶ広域交流道路につきましては、町道長沢三面線の独自改良の促進を図



完成に向け工事が進む横川ダム湖岸線

りながら、県境越え路線の整備について、関係機関に引き続き働きかけてまいります。

地域住民が自ら取り組む地域づくり事業を支援する農村の暮らしづくり総合助成事業、及びふるさとづくり総合助成事業を継続実施することとしたほか、財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業を受け、栄町一地区の防犯灯設置を支援することといたしました。

雪対策につきましては、除雪ドーザ並びにロータリ除雪車をそれぞれ一台ずつ、購入することとしたほか、新規に国土交通省の建設機械整備費補助事業を導入し、ハンドロータリ式除雪機を購入いたします。この除雪機械は、地域住民の除雪活動に貸与することを基本に、活用手法等について検討を加えてまいります。また、凍雪害防止の新規事業といたしまして、町道緑町六号線及び四号線、高校前線に延長二八五メートルの流雪溝を整備いたします。このほか、小坂町流雪溝排水路及び町岩地区流雪用水導水路の改良と幸町地区流雪溝の補修を行ってまいります。

雪国における快適な居住環境

を整備するため、小国の家づくり助成事業を継続実施することとし、融雪屋根助成事業を五戸分、木材製品利用住宅建築奨励助成事業を二十戸分について措置いたしました。

上水道の給水区域の拡大を図るため、町原地区に配水管を延長するほか、北地区等に維持管理に必要な制水弁を設置することといたしました。また、叶水及び白沼簡易水道において、老朽化した配水管の入れ替え工事を行います。

下水道事業につきましては、北地区において污水管敷設工事を引き続き実施することといたしました。これにより、事業認可区域面積の約八四％に当たる一五九ヘクタールで整備完了となる見込みであります。

また、下水道加入戸数は、対象戸数の四七％という状況でございますので、さらに加入を促進しながら、環境保全の推進と安定した下水道経営に努めてまいります。

ごみの分別収集に当たりましては、町民皆さんの深い理解と協力によりまして、大変効率的な処理が確保されております。今後とも、資源ごみ及び粗大ご

みの収集方法の改善を図り、町民生活の利便性を高めてまいります。

消防施設整備につきましては、田沢頭地区に消火栓を設置するほか、五味沢及び西地区に防火水槽を新設することといたしました。また、消防団の活力ある組織づくりと円滑な活動を推進していくため、活動服を購入し貸与してまいります。

あけぼの地区は、現在、五十七世帯が居住しております。さまざまな形で新たなコミュニティ活動が展開されておりますので、都市公園の機能を整備することといたしました。

現在の葬祭場は昭和五十二年に整備した施設であります。このため、本年度は、庁内に建設計画策定委員会を立ち上げ、場所の選定や施設規模等について検討してまいりたいと考えております。

山形県は、山間地域における携帯電話通信を可能にするため、本年度、県単独補助事業として「携帯電話不感エリア解消モデル事業」を創設しました。この事業を導入し、東部地区等の不通話の解消を検討したいと考えています。

分権型行財政の運営

国、地方を通じた危機的な財政状況の中、わが国は、本格的な人口減少社会の到来、環境制約の顕在化など、新たな時代潮流を迎えつつあり、あらゆる分野において、新たな対応が求められております。

私は、こうした転換期に臨み、平成十四年度に第三次小国町行財政改革大綱を策定し、その一環として、組織を再編することとしました。現行の十一課二室五局を、八課一室五局に改組し、スリムな体制を整えることにしました。

本年度は、現行の過疎地域自立促進法に基づき、平成十七年度からの「後期自立促進計画」を策定する必要がありますので、戦略的、重点的な計画づくりに取り組んでまいります。

あわせて、人口構造や居住様式の変化、就業形態の多様化などから、集落を取り巻く環境や維持機能が大きく変容しておりますので、集落構造実態調査に取り組むことにいたしました。わが国でインターネットが広がり始めてから十年が経過した

しました。今では、いつでも、どこでも瞬時につながる時代が到来したと言われております。このため、電子自治体の構築に向けて、その指針となる「小国町行政電子化計画」の策定に取り組んでまいります。



皆さんからのご意見をいただく町長と語る日

住民の方々から多様な考え方をお聞きし、それらを町政に反映させていくことは、住民の町政参画と自治意識を高めていく基本であります。このため、町長と語る日や町政懇談会を開催するほか、町長室専用のファックスや電子メールを活用した広聴活動を引き続き展開してまいります。

むすび

県立小国高等学校に、町の有

形文化財として指定されている上杉治憲公自筆の「興学」と記された一幅の掛軸が保存されております。

「興学」の出典は、中国古典の「礼記」の一節から引用されたもので、その意は「人々は生活水準が安定することによって、一層仕事に励み、それを築いてきた年上の人々を敬う心が生まれる。こうした基礎が築かれた上で、学問や文化を盛んにすることができる。」ということであると言われております。

治憲公がこの二文字を揮ごうした心は、「学問、文化を振興し、人々の生活の質や心の豊かさを一層高め、それによって地域を支える力や活力を生み出す源泉を豊かにしていく。」という考え方を、広く伝えていくこうとされたものと思います。

私は、自治体を取り巻く環境が極めて厳しい中であって、人々の価値観の多元化、地域の多様性に応えていくため、「興学」の教えを心に据え、「協働と協創」のまちづくりに邁進していく所存であります。

町民並びに議員各位の一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

森林環境整備事業	5,000
森林整備地域活動支援推進事業	21,170

商工費 2億4,759万6千円

商工会運営費補助金	4,404
商店街活性化推進事業	490
いきいき街づくり公社支援事業	4,237
観光施設管理運営事業	68,569
おぐに石楠花まつり事業費補助金	5,200
おぐに夏まつり事業費補助金	1,000
小国町誘客振興協議会負担金	500
白い森景観交流事業	1,050
工業用水道事業会計負担金	51,426

土木費 8億2,342万2千円

道路橋梁新設改良事業	266,215
町道内踏切改修調査事業	2,000
景観等整備事業	5,000
コミュニティ道路整備事業	5,600
県執行事業負担金	24,000
小国の家づくり助成事業	7,500
除雪事業	194,243
除雪機械購入事業	12,395
公園等整備事業	68,262
下水道事業特別会計繰出金	104,353

消防費 2億1,266万4千円

西置賜行政組合消防負担金	166,107
消防施設整備事業	12,000
消防資機材購入事業	5,376
消火栓整備事業	2,415

教育費 3億9,716万1千円

教育相談員設置事業	2,270
特色ある学校づくり支援事業	1,120
小中高一貫教育支援事業	13,072
学校教育用コンピュータ活用事業	12,078
小学校管理運営費	77,161
小学校施設維持補修事業	6,860
中学校管理運営費	17,121
中学校施設維持補修事業	1,650
生涯学習講座開設事業	1,359
新子どもセンター事業	691
白い森国際交流ワークショップ事業	11,885
総合センター管理運営事業	31,235
生涯スポーツ振興事業	4,341
体育施設管理事業	36,654

災害復旧費 651万4千円

農業施設災害復旧事業	988
公共土木施設災害復旧	5,038

公債費 13億7,011万円7千円

長期債定期償還元金	1,025,266
減税補てん債(元金借換分)償還元金	146,900
長期債定期償還利子	196,951

< 特別会計・企業会計 >

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計 2,610万円

叶水簡易水道老朽管入替事業	6,179
---------------	-------

国民健康保険事業特別会計 8億870万円

一般被保険者等療養給付費	264,836
人間ドッグ事業	5,614

部落有財産会計 1億354万円

部落有財産公共事業交付事業	103,540
---------------	---------

老人保健特別会計 11億3,672万円

老人保健医療現物給付事業	1,116,425
--------------	-----------

下水道事業特別会計 3億6,955万円

公共下水道管渠建設事業	102,660
-------------	---------

訪問看護特別会計 5,375万円

老人訪問看護サービス事業	11,025
--------------	--------

介護保険特別会計 7億4,850万円

居宅介護サービス給付費	180,000
施設介護サービス給付費	493,786

病院事業会計 11億5,756万円

医療機器購入事業	33,401
----------	--------

老人保健施設特別会計 2億8,651万6千円

施設介護サービス事業	269,772
------------	---------

水道事業会計 1億4,309万2千円

配水施設改良費	13,335
---------	--------

工業用水道事業会計 1億366万8千円

横川ダム建設負担金	34,542
-----------	--------

平成16年度 主な事業とその予算額

< 一般会計 >

(単位：千円)

議会費 9,660万3千円

議員報酬・手当（16名分）	68,784
議長交際費	350
議会広報紙発行	670
議員視察研修費	3,071

総務費 7億8,528万2千円

町長交際費	1,500
後期過疎地域自立促進計画策定事業	1,225
駐在員設置事業	9,212
情報公開等事業	212
集落構造実態調査事業	3,038
広報発行広聴活動事業	2,832
情報受発信事業	2,084
法定外公共物譲与申請事業	11,859
庁用自動車購入事業	4,490
置賜広域交流拠点施設建設事業	19,589
コミュニティ助成事業	2,500
携帯電話不感エリア解消モデル事業	8,014
町営バス運行事業	32,825
ふるさとづくり総合助成事業	5,000
参議院議員選挙通常選挙執行事業	11,957
山形県知事選挙執行事業	11,448
小国町長選挙執行事業	6,044

民生費 9億5,192万4千円

福祉医療費	40,452
民生児童委員費	3,520
社会福祉協議会運営費補助金	8,000
障害者交通費助成事業	4,188
精神障害者在宅福祉サービス事業	644
障害者支援費支給事業	94,129
在宅介護支援センター管理運営事業	17,930
次世代育成支援対策推進行動計画策定事業	200
地域・家族介護者支援事業	2,000
介護保険利用者負担減免等事業	2,924
暮らしにやさしい住まいづくり助成事業	6,000
老人福祉施設入所措置事業	17,568
児童手当支給事業	30,000

民間保育所入所児童委託料	147,226
子育て支援センター設置運営事業	15,823
児童福祉施設運営事業	27,511
延長保育促進事業費補助金	11,407
おぐに保育園管理運営事業	20,948
身体障害児補装具交付修理等事業	840
老人ホームおいたま荘負担金	14,009
中央児童室管理運営事業	1,816
老人保健特別会計操出金	78,316
国民健康保険事業特別会計操出金	61,712
老人保健施設事業会計負担金	43,764
介護保険事業特別会計操出金	104,225

衛生費 5億6,377万4千円

老人保健事業	35,967
浄化槽設置整備事業	22,609
旧ごみ埋立地隣接地取得費	911
母子保健事業	2,945
医師確保対策事業補助金	12,000
結核検診・予防接種事業	11,018
葬祭場管理費	5,032
ごみ減量促進事業	45,758
宿泊人間ドック助成事業	4,340
置賜広域行政事務組合負担金	89,896
簡易水道事業特別会計操出金	2,950
病院事業会計負担金	277,000

労働費 3,312万4千円

雇用相談員設置事業	1,924
緊急雇用促進助成事業	5,000
労働者対策事業	419
シルバー人材センター支援事業	1,899

農林水産業費 4億6,480万9千円

農業委員報酬（17名分）	3,220
土地改良農家負担対策事業	9,000
中山間地域等直接支払事業	3,506
水田農業構造改革事業	13,736
農用地利用集積支援事業	3,403
新山村振興等農林漁業特別対策事業	62,902
特定農山村総合支援事業	4,854
食の文化、産業づくり推進事業	6,800
経営構造対策事業	169,689
農村の暮らしづくり総合助成事業	5,000
農産物加工所備品整備事業	1,200
農村公園等造成事業	5,788
間伐実施推進事業	2,905
町有林造林事業	21,324
林業構造改革事業	11,898

三月定例議会

三月定例議会が、十日から十八日までの九日間にわたって開かれました。今回の議会では、平成十五年度各会計補正予算や平成十六年度各会計予算のほか、小国町課設置条例の設定など二十七議案が審議され、いずれも原案どおり可決されました。

一般会計に四千百三十三万二千円を追加

今回の補正では、国の補正予算に伴う事業費の追加や延長保育促進事業の費補助金の追加、今年度の異常気象に伴う農作物の種子確保対策経費などが措置されました。

主な補正予算の内容は次のとおりです。

東部地区に
農産物加工施設などを整備

水源地域整備計画に基づき、東部地区の農業経営規模の拡大と、地域資源を活用した新たな産業づくりを進めるため、

農業機械の導入や加工施設、交流施設等の整備を行う経営構造対策事業が、国の補正予算に伴い、事業採択されました。なお、本年度は、農業用機械の導入を行うこととし、他の事業については翌年度に繰り越して実施することとしました。

老人保健特別会計に千四百三十一万三千円を追加

老人保健医療給付事業において、制度改正や医療の高度化に伴い、現物給付及び高額医療費の給付額の増加が見込まれるため、所要額を追加し

ました。

専決処分を承認

今冬は、一月中旬以降に連続した降雪に見舞われたことから、二月九日、役場庁舎内に雪対策全般の情報収集と関係機関との調整を図るため、「雪対策連絡会議」を設置し、対応にあたってきました。その結果、道路の除排雪経費に不足が見込まれるため、五千二十六万円の追加措置を専決処分したことについて、議会の承認を得ました。

十一課を八課に 課設置条例を設定

地域社会を取り巻く環境は大きく変化しており、加えて、国の三位一体の改革や産業経済活動の低迷により、地方自治体の行財政運営は大きな転換期を迎えています。

町では、平成十五年二月に第三次「小国町行財政改革大綱」を策定し、平成十五年度から当面の間を「行財政改革

緊急実施期間」と位置づけ、財政の健全化の維持などに取り組みんでいます。

このたびの組織の再編にあたっては、高い視点と広い視野からの政策立案機能を発揮し、縦割り行政の弊害を排除していくため、大括りの再編を行うこととしました。現在の十一課を八課に再編し、臨機応変に対応できる組織体制を構築しました。

今後は、より効果的・効率的な行政運営と住民サービスの向上に努めてまいります。組織の再編により、新たに設置される課は次のとおりです。また、担当する主な業務の内容は15ページの組織機構図をご覧ください。

・「総務企画課」

総合的・戦略的な政策昨日と行政施策の総合調整機能を充実するため、総務課と企画課を統合しました。

・「産業振興課」

地域資源を積極的に活用した拡大策を図ることなど地域

産業の総合化を推進するため、農林課と商工観光課を統合しました。

・「地域整備課」

地域活性化のため、一体的な基盤整備と快適な住環境を創り出すため、建設課と上下水道課を統合しました。

町一般職員の五十五歳昇給停止を実施

平成十年の人事院勧告に基づき、町一般職員の昇給停止年齢を原則五十五歳に引き下げることとし、経過措置を含む条例改正を行っていました。が、近年、社会・経済情勢が大きく変化していることや条例制定後すでに五年が経過していることなどから、経過措置を廃止し、今年四月より五十五歳昇給停止を実施することになりました。

町特別職の給与の減額措置を延長

町内の景気状況を考慮して、

平成十四年四月から、特別職の給料月額を減額（町長一〇%、助役五%、収入役・教育長三%）していましたが、この減額措置をさらに一年間延長することになりました。

また、課長職の管理職手当につきましても、平成十四年四月から毎月三〇%減額してきましたが、さらに一年間延長し、月額二〇%減額することになりました。

温身の郷の通所リハビリ

定員を拡大

介護老人保健施設温身の郷通所リハビリのサービス利用を希望する方が増えていることから、定員を二十名から二十五名に拡大します。

また、介護保険法の規定以外のサービスである教養娯楽の利用料を利用者負担が認められるものについては、実費負担とすることになりました。

なお、身体障害者居宅支援事業で、個別リハビリを行った場合の利用料は一回につき、千円とすることになりました。

癒しの園 シリーズ1

健康考話

小国町立病院院長
阿部吉弘



皆さんこんにちは。今月からこのコーナーをお借りして、時折々の健康の話題やとっておきの情報などを癒しの園健康考話としてお届けしていきます。

さて小国の長かった冬も終わり、いよいよ小国の一番いい季節が近づいてきました。「春眠暁を覚えず」ということを実感している方も多い今日この頃ではないでしょうか。皆さんの中には「どうもよく寝られない」などの眠りでの悩みを抱えている人はいませんか。この季節は入学、就職、人事異動など心にストレスがかかりやすいときです。そんなストレスが眠りを浅くしてしまうことがあります。夜中や早朝に目が覚めてしまつて

寝付けなくなったりしている方の中にはそんなストレスからくる「心のカゼ引き」の方がいるかもしれません。

それでは、快適に眠るためのちょっとしたコツをご紹介します。読書、音楽、ストレッチ、ぬるめの入浴などで自分なりのリラックスした状態をつくることに心がけてください。自然に眠たくなつてから寢床に就く、眠ろうと意気込むとかえって逆効果です。また、お医者さんの診察を受けていただいている睡眠薬は、正しく飲んでいただければ安全で効果的です。ただし、お酒とは一緒に飲まないでください。睡眠薬代わりの「寢酒」は、睡眠の質を悪くします。いろいろ試してみただけだ、そんなときは医療機関にご相談いただくのも大事なことです。多くのかたがたに「春眠暁を覚えず」ということを実感していただきたいと思えます。

このコーナーで取り上げていただきたい話題があれば町立病院までご連絡ください。

環境省が制作した温暖化防止のためのDVD教材「知ろう学ぼう 考えよう 地球温暖化」十五本が、町教育委員会に寄贈されました。

これは、二月十五日に行われた「地球温暖化問題を考えるシンポジウムin白い森」の席上、講師として出席された環境省の地球温暖化対策課の青柳恵美子さんから、目黒孝雄教育長に贈られました。今後、環境学習の教材として各学校で活用される予定です。

DVD教材が環境省より寄贈される



故齋藤益吉さんに 瑞宝双光章



元町収入役の齋藤益吉さん（兵庫館 平成十六年二月一日死去）に、瑞宝双光章が授与されました。齋藤さんは、昭和十八年に旧津川村役場に入庁。昭和五十一年からは、町民課長、保健福祉課長、病院事務長を歴任。昭和六十二年から平成十一年年まで三期十二年間、町収入役を務められました。

長年にわたる地方自治への功績が称えられたもので、三月十二日に町長よりご遺族の方へ贈られました。

小中高一貫便り



vol.22

平成十六年度

小中高一貫教育の取り組み

「研究」から子どもたちにとって

「魅力ある一貫教育」へ

平成十三年度から三年間取り組んできました小中高一貫教育については、ご理解、ご協力を頂き感謝申し上げます。平成十六年度からも引き続き、本町教育の中心課題とし、継続していきます。

取り組みの柱は、一、小中高間の「交流授業」二、小学校からの「国際理解教育・情報教育」三、地域に学ぶ「白い森学習」四、勤労観を育てる「進路学習」五、地域とともに活動する「生徒活動」です。

特に、今年度は、①小中高で「算数・数学」の習熟度テストを実施し、基礎学力の定着を図る ②英語が好きな子どもを育てるために、コンピュータ学習と英会話を合わせた学習を工夫する ③教員

の指導力を高めるため、小学校教員の研修会を充実する ④地域への理解と関心を高めるため、白い森子ども議会を実施する ⑤働くことの大切さを学ぶ進路学習を小学校から取り入れ、実施する ⑥中高における大学教授や外部講師による講義と高校の魅力づくりについて検討する、などを行います。

平成十六年度からは、これまでの「研究」段階から、子どもにとって「魅力のある一貫教育」となるよう取り組んでいきます。



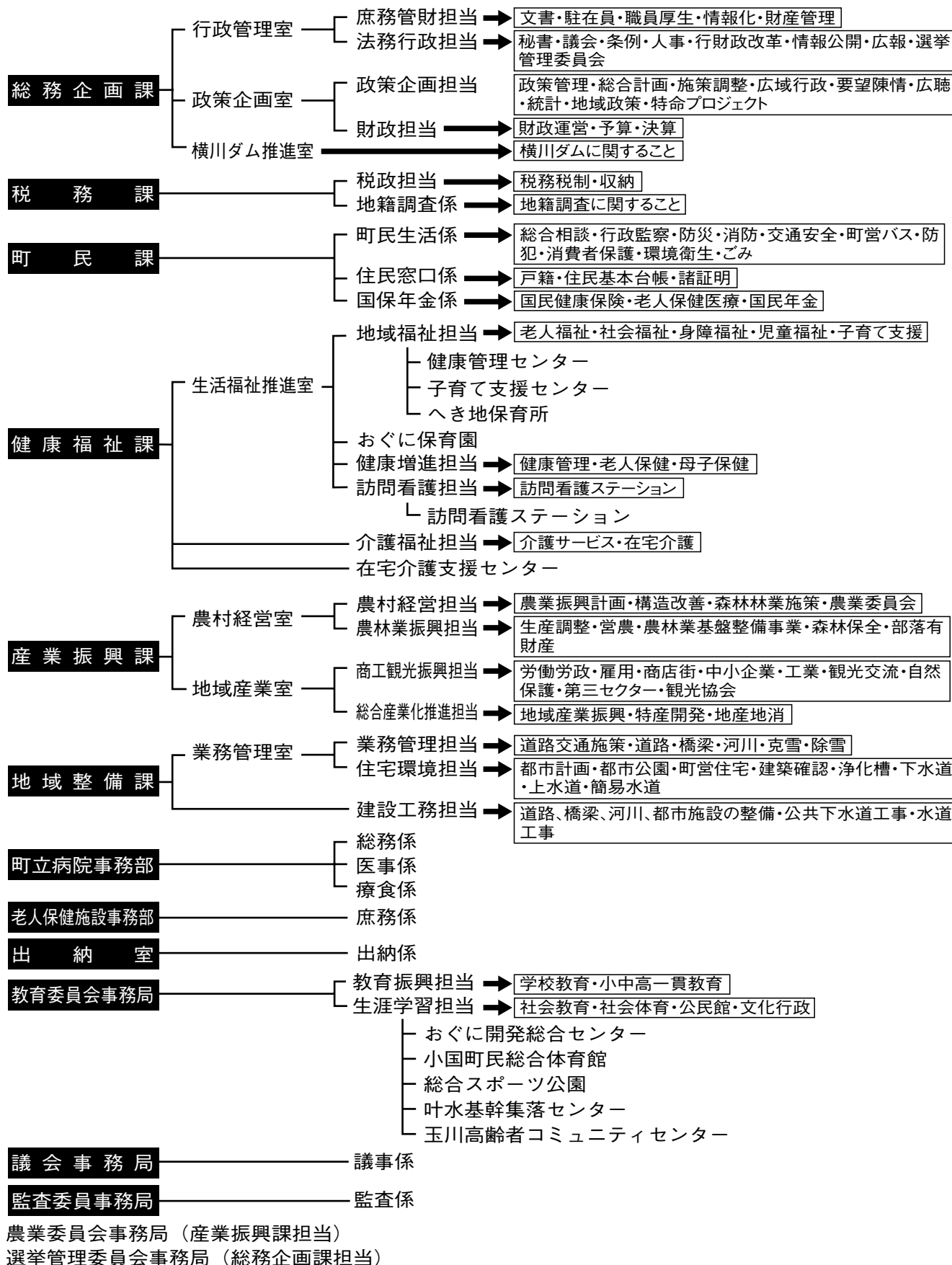
魅力ある一貫教育を展開

役場の組織を大幅に見直しました

—11課から8課へ、担当業務制を導入—

●組織機構図

(担当する業務の内容)



は前職

●新採
(4月1日)

主事 今秀之

●昇任・昇格
(4月1日)

整主查兼企画調整係長)

▼在宅介護支援セン

▼おぐに保育園保育士

●配置替え（4月1日）

理センター所長兼在宅介

援センター所長兼訪問看

合センター所長）五十嵐

(町立病院医師)田中文二

活福祉推進室長兼健康管

テーション次長兼子育て

佐併議会議務局長補佐

中央児童室長（健康福祉

課調整主査兼子育て支援センター係長) 岩沢ちか	▼教育委員会事務局教育振興担当主査(教育委員会事務局教育管理主査)	伊藤要一▼健康福祉課主査(企画課情報管理担当)	情報管理主査兼情報管理係長) 小嶋宏幸▼産業振興課総合産業化推進担当主査(農林課調整主査)	舟山良一▼地域整備課業務管理兼住宅環境担当主査(商工観光課商工労働主査) 齋藤一▼地域整備課建設工務担当主査(上下水道課工務主査兼工務係長) 菅野享一▼産業振興課農村経営兼農林業振興担当主査(企画課地域計画主査兼横川ダム推進室主査兼地域計画係長)	舟山博▼総務企画課庶務管財兼法務行政担当主査(商工観光課観光振興主査) 後藤和人	▼議事係長併監査係長(商工観光課商工労働係長) 舟山実恵子▼健康福祉課健康増進担当係長(健康福祉課健康推進係	長) 横山順子▼地域整備課住宅環境担当係長(上下水道課業務係長) 横山澄絵▼産業振興課商工観光振興担当係長(商工観光課観光振興係長) 加藤康浩▼総務企画課法務行政担当係長(総務課庶務行政係長) 原田千鶴子▼総務企画課政策企画担当係長(農林課農村経営係長) 仁科清春▼総務企画課財政担当係長(総務課財政係長) 舟山重浩▼税務課収納担当係長(税務課収納係長) 木村広英▼税務課課税担当係長(税務課課税係長) 金鋼一▼教育委員会事務局生涯学習担当係長(教育委員会事務局生涯学習係長兼おぐに開発総合センター庶務係長) 佐藤友春▼教育委員会事務局教育振興担当係長(教育委員会事務局教育振興係長) 益田則幸▼総務企画課庶務管財担当係長(総務課管財係長) 磯部俊二▼健康福祉課地域福祉担当係長(健康福祉	課地域福祉係長) 渡邊仁	▼産業振興課農村経営担当係長(健康福祉課介護福祉係長) 井上伊勢男▼産業振興課農業振興担当係長(農林課農村振興係長) 渡辺久光▼地域整備課業務管理担当係長(建設課建設管理係長) 渡辺広義▼産業振興課森林振興担当係長(農林課森林振興係長) 平澤林太郎	▼教育委員会事務局主任(健康福祉課子育て支援センター主任栄養士) 貝沼かち▼産業振興課主任(農林課主任) 那須野政夫▼同主任(農林課主任) 渡部由美子▼総務企画課主任(企画課主任) 佐藤重美▼町立病院主任薬剤師(町立病院主任薬剤師兼介護老人保健施設主任薬剤師) 長坂幸広	▼総務企画課主事(企画課情報管理担当主事) 舟山修一▼産業振興課主事(商工観光課主事) 高橋里美▼総務企画課主事(教育委員会事務局主事) 中津川典広▼地域整備課技師(建設課技師) 伊藤鉄哉▼産業振興課主事(商工観光課主事) 舟山真次▼総務企画課主事(総務課主事) 小野正晴▼税務課主事(総務課付主事) 佐藤欣彦▼地域整備課主事(建設課主事) 蛸谷マキ子▼健康福祉課主事(町立病院主事) 佐藤ひとみ▼産業振興課主事(農林課主事) 舟山直幸▼地域整備課主事(建設課主事) 田村英明▼町立病院主事(議会事務局書記併監査委員事務局書記) 梅津まき子▼町民課主事(教育委員会事務局主事) 青木伸幸▼産業振興課主事(農林課主事) 舟山友樹▼地域整備課主事(建設課主事) 横山真也▼地域整備課主事(上下水道課主事) 中津川ひとみ▼総務企画課主事(総務課主事) 佐野鉄也▼産業振興課主事(商工観光課主事) 瀬齋知倫▼地域整備課主事(建設課主事) 佐藤秀樹▼地域整備課技師(上下水道課技師) 師) 三潞薫▼総務企画課主事(企画課情報管理担当主事) 青木真由美▼同主事(企画課主事) 遠藤泰子▼同主事(総務課主事) 高橋俊典▼地域整備課主事(上下水道課主事) 貝沼俊明▼総務企画課主事(企画課主事) 井上賢和▼同主事(同主事) 片桐研二▼地域整備課技師(建設課技師) 青木淳▼税務課主事(町民課主事) 河内亮▼総務企画課主事(総務課主事) 舟山美穂▼町立病院看護師(訪問看護ステーション看護師兼町立病院看護師) 佐藤さゆ子▼総務企画課主任自動車運転手(総務課主任自動車運転手) 二村春雄▼同自動車運転手(同自動車運転手) 清野賢一▼同自動車運転手(同) 米野幸宏▼小国小学校用務員(叶水小学校用務員) 小野せつ子	▼産業振興課主事補(農林課主事補) 渡部寿郎▼健康福祉課主事補(同主事補) 佐藤正樹	師) 三潞薫▼総務企画課主事(企画課情報管理担当主事) 青木真由美▼同主事(企画課主事) 遠藤泰子▼同主事(総務課主事) 高橋俊典▼地域整備課主事(上下水道課主事) 貝沼俊明▼総務企画課主事(企画課主事) 井上賢和▼同主事(同主事) 片桐研二▼地域整備課技師(建設課技師) 青木淳▼税務課主事(町民課主事) 河内亮▼総務企画課主事(総務課主事) 舟山美穂▼町立病院看護師(訪問看護ステーション看護師兼町立病院看護師) 佐藤さゆ子▼総務企画課主任自動車運転手(総務課主任自動車運転手) 二村春雄▼同自動車運転手(同自動車運転手) 清野賢一▼同自動車運転手(同) 米野幸宏▼小国小学校用務員(叶水小学校用務員) 小野せつ子	▼産業振興課主事補(農林課主事補) 渡部寿郎▼健康福祉課主事補(同主事補) 佐藤正樹	
-------------------------	-----------------------------------	-------------------------	---	---	--	--	--	--------------	--	---	--	--	---	--	--

町営幸町団地入居者募集

募集戸数

2戸

募集期間

4月5日(月)
～12日(月)

入居時期

5月上旬

敷金

家賃の3ヶ月分

問合先

地域整備課へ。

トネリコの苗木配布

日時

4月29日(木)

場所

役場駐車場

問合せ

教育委員会へ。

第41回歩こう会

日時

5月16日(日)

コース

下関堅穴式住居跡→湯沢三十三観音

参加費

大人二千円、中学生以下千円

申込先

健康福祉課へ。

申込期限

4月30日

置賜地域総合計画

応募資格

置賜地域に移住または勤務している、満20歳以上のかた

募集人員

5名程度

内容

「置賜地域未来研究会」での意見交換など

問合先

置賜総合支庁

試験日時および場所

▽第1回 6月12日(土) 米沢市▽第2回 6月26日(土) 長井市

種類

危険物取扱者甲種、乙種、丙種

危険物取扱者試験

試験日時および場所

▽第1回 6月12日(土) 米沢市▽第2回 6月26日(土) 長井市

受付期間

▽第1回 4月19日(月)～28日(水)▽第2回 5月17日(月)～26日(水)

申込先

(財)消防試験研究センター 山形県支部

総合センターから

◆魔女の息子 伏見 憲明
◆日本の文学 金の星社
◆盲導犬クイールの一生 石黒 謙吾
◆真相 横山 秀夫
◆瑠璃の翼 山之口 洋
※ほか多数入荷しました。

新着図書

- ◆魔女の息子 伏見 憲明
- ◆日本の文学 金の星社
- ◆盲導犬クイールの一生 石黒 謙吾
- ◆真相 横山 秀夫
- ◆瑠璃の翼 山之口 洋

『子育て支援センターから』

『あそびの広場』

日時 5月11日(火)
10時～11時30分

場所

健康管理センター

『なかよし広場』

日時 5月6日(木)、13日(木)
10時～11時30分

場所

▼6日総合センター1集会室▼13日おぐに保育園

『子ども愛ランド』

日時 5月15日(土)
9時～12時30分

場所

国民宿舎飯豊梅花皮荘周辺

※詳しいことは、子育て支援センターへ。

鳥類を飼っている皆様へ

家畜伝染病予防法の対象となっている鶏(鶏、ちゃば、鳥骨鶏など)、うずら、あひる、七面鳥を飼っているかたは、飼養者の住所、氏名、連絡先および飼養状況(鶏等の種類、飼養羽数)を町民課まで連絡してください。■連絡期限 4月16日(金)

求人情報

お知らせ版3月15日号掲載以後の新規求人です。

下の表は、その内容を掲載したものです。無効になっている場合もありますのでご了承ください。このほかの求人情報については、ハローワーク長井(☎84-8609)へ。

事業所名	求人数	職種	年齢	就業時間
玉川開発(株)	2人	土木技術員、重機オペレーター	20～50	8:00～17:00
(有)三栄自動車工業	2人	整備士、ガソリンスタンド業務	18～30	8:25～17:30
(株)フォース仙台営業所	3人	機械設計	不問	9:00～17:45
おぐに白い森(株)	1人	調理補助	18～25	7:00～16:00ほか
	1人	夜間警備員	18～65	19:00～7:00
	2人	医事業務	60以下	8:30～17:00
	2人	施設業務員	18～50	7:00～16:00ほか
小国町役場	5人	介護員	18～50	8:30～17:15ほか
日本生命保険相互株式会社	10人	保険営業	20～50	9:00～17:15
街コンパカニー第一ホール小国店	2人	ホールスタッフ	18～40	8:00～17:30ほか
(有)白い森よこね	5人	調理、販売	18～45	9:00～20:00 5時間
(株)アスモ	2人	ファーストフード店員	18～50	9:30～18:30 5時間

緊急雇用助成制度

《受給できる事業主》

- 次のいずれにも該当するかた
①町内の中小企業 ②新規創業者は、所管官庁への届出済のかた ③公共職業安定所の紹介(紹介状持参)により雇入れ、3ヶ月以上継続して雇用したかた ④雇入れた日の前1ヶ月間に、労働者を解雇していないこと
⑤助成対象期間:16年4月～17年3月まで(毎年、季節雇用するものは除く) ⑥雇用に関する書類を整備しているかた ⑦町民税等を完納しているかた

《交付対象となる労働者》

本町に住所を有し、雇用時60歳未満の者(同一事業所で、同一人の再雇用は除く)

《助成内容》

- ①対象労働者1人につき15万円(週30h以上)、10万円(週20～30h)
②年間一事業所について、5人まで

■問合先 産業振興課へ。

各種手当を支給します

手当名	小国町母子家庭等修学費	児童扶養手当	特別児童扶養手当
対象者	●母子家庭または父子家庭で児童を育てているかた ●父母ともにいない場合は、親に代わって児童を育てているかた	●母子家庭で児童を育てているかた ●父母ともにいない場合は、親に代わって児童を育てているかた	重度から中度の障害を持った児童を、在宅で育てているかた
手当額	対象児童 1 人につき 月額2,000円	月額9,910円～42,000円 児童 2 人目は5,000円、3 人目以降、1 人増すごとに3,000円が支給されます。 ※所得に応じて手当月額は変わります。	1 級障害 月額51,100円 2 級障害 月額34,030円
所得制限	所得制限があります。一定所得以上のかたには支給されません。	所得制限があります。一定所得以上のかたには支給されません。	所得制限があります。一定所得以上のかたには支給されません。
支給期間	児童が小学校、中学校、高等学校のいずれかに在学していることが条件で、児童が在学中の期間のみ支給されます。	児童が18歳になる年度末まで支給されます。	児童が20歳になるまで支給されます。 ※20歳以上のかたには、特別障害者手帳が支給されます。
その他	毎年 1 回、家庭状況などの確認のため現況届を提出していただきます。	毎年 1 回、家庭状況などの確認のため現況届を提出していただきます。 遺族年金等の年金を受給されているかたは、対象となりません。	毎年 1 回、家庭状況などの確認のため現況届を提出していただきます。

※詳しいことは、健康福祉課へ。

保健カレンダー

月 日	乳幼児健診	受付時間	対 象	場 所
5 / 19	ツベルクリン接種	13:00～13:30	15年10月～ 16年 1 月生	健康管理センター ※持ち物 母子健康手帳、各種問診票（3 カ月・1 歳児健康診査は除く）
5 / 20	2 歳児歯科健診	13:00～13:15	13年 9 ～11月生	
5 / 21	ツベルクリン判定 BCG接種	13:00～13:30	15年10月～ 16年 1 月生	
5 / 28	3 カ月健康診査	13:00～13:15	16年 2 月生	
	1 歳児健康診査	13:00～13:15	15年 5 月生	

※詳しいことは、健康福祉課へ。

熊まつり

いつ 5月5日(水)
時間 10時～
どこで 国民宿舎飯豊
■内容 梅花皮荘前広場
■内容 神事、熊狩り
模擬実演、勢子(せこ)大会など
※詳しいことは、小国町観光協会(☎62-211)へ。

おぐに 石楠花まつり



■日 時 5月1日(土)～5日(水)
9:00～18:00
■どこで 道の駅「白い森おぐに」特設会場
■入場料 300円
※詳しいことは、おぐに石楠花まつり実行委員会事務局(産業振興課内☎62-2111)へ。

白くまのほほえみ

今月は、相田デンキ店斎藤千歳さんにお話をうかがいました。

「当店のお客様には、昔から



斎藤千歳さん

のお付き合いをさせていただいている方が多いです。人と人とのつながりを大切にしてお客様と接しています。私を含めて三人で店を切り盛りしています。常に、一人は小国町内のお宅に回って、お客様のご注文に答えられるようにしています。このため、商品の注文のほか、他店で購入された商品の修理も行っていますので、お気軽にお電話いただければと思います。

付けも行っています。また、現在、当店がお勧めしている商品は、液晶テレビです。消費電力が少なく、長く持ちますので、環境にやさしいテレビ」ともいわれています。春と秋には町民体育館で売り出しを行うほか、Oカードのポイントサービスもいたしています。

三月中旬のことでしたが、取材先で久しぶりに「雪虫」を発見しました。「雪虫」といえば、春を告げる使者。待ちわびた春がすぐそこまでやってきたようで、自然とうれしくなりました。

編集後記

今月号より「お知らせ版」を廃止して、新しく、広報に情報コーナーを設けたほか、紙面の構成や内容を一部変更しました。

限られた紙面ですが、小国の「いま」を町民の皆さんにわかりやすく伝えられたらと思います。一年間、ありがとうございました。(井上)

戸籍のまど

誕生おめでとございます。

幸町	前田	大翔	仁紀
小国	齋藤	勇斗	章真
小国	宮崎	天希	正友
東原	佐藤	健成	宏千
兵庫	佐藤	朱愛	道茂
幸町	石塚	翼	哲知
兵庫	齋藤	和花	恵

結婚おめでとございます。

西	太	田	幹	生
葉	松	本	弘	子
井	渡	部	一	紀
南	木	下	佳	代
栄	菊	竹	美	忠
小	山	北	美	和

おくやみ申し上げます。

小幸	玉川	本間	彌助	(84)
兵庫	町	舟山	良策	(75)
岩井	舘	齋藤	益吉	(76)
五北	沢	江部	せき	(86)
小金	沢	吉田	ちよ	(83)
今片	町	齋藤	廣マ	(76)
	目	佐藤	孝	(79)
	市	高	せ	(69)
	貝	佐	は	(81)
北	鏡	藤	勇	(78)
網木	山	野	正	(82)
兵庫	部	藤	藤	(84)
小国	澤	善	助	(66)
石小	野	右	二	(71)
	齋	門		(82)

人口	男	4,946人	(-7)
	女	5,197人	(-3)
	計	10,143人	(-10)
世帯数		3,309世帯	(±0)
		平成16年2月29日	

人口のこまき